

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 國學院大學研究開発推進センター メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/2315

彙報

室〇六

〈出張〉

▽平成二十二年度研究開発推進センター会議

・第一回、平成二十二年五月二十六日(水) 十四時～十五時、A M

C棟五階会議室〇六

・第二回、平成二十二年八月五日(木) 十三時～十四時、A M C棟

五階会議室〇六

・第三回、平成二十二年十二月十五日(水) 十一時～十二時、A M

C棟五階会議室〇六

彙報

▽「招魂と慰霊の系譜に関する基礎的研究」事業

〈「慰霊と追悼」研究会〉

・第三十一回、佐藤壮広(立教大学講師)「いたむ身体―沖縄の民間巫者の痛みと悼み―」、土居浩(ものつくり大学准教授)「神

様にも相済まぬ―金光教による沖縄での遺骨収集について―」、平成二十二年七月三十日(金) 十八時～二十一時、A M C棟五階

会議室〇六

・第三十二回、池映任(東京大学大学院人文社会系研究科次世代人文学開発センター研究員)「韓国における戦死者慰霊システムの成立と意味―日本の戦死者慰霊との比較の観点から―」、平成二十二年十二月十七日(金) 十八時～二十時、A M C棟五階会議

・中山都・坂井久能(共同研究員)「群馬県護国神社所蔵文書資料調査」、平成二十二年八月十七日(火)～十九日(木)

・菅浩二・坂井久能「栃木県護国神社所蔵文書資料調査」、平成二十二年十二月二十六日(日)～二十八日(火)

▽平成二十二年度研究開発推進センター研究会

・第一回、中野裕三「大国主神に関する一考察」、平成二十二年四月二十一日(水) 十九時～二十一時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第二回、星野光樹(神道文化学部助教)「権田直助の葬祭について」、平成二十二年五月十九日(水) 十九時四十分～二十一時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第三回、宮本誉士「御歌所について」、平成二十二年六月十六日

(水) 十九時三十分～二十一時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第四回、森悟朗「神風講社について」、平成二十二年七月十四日(水) 十九時三十分～二十一時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

・第五回、遠藤潤「黄泉国論争について」、平成二十二年九月二十二日(水) 十九時三十分～二十一時、A M C棟五階プロジェクト

ルーム二

- ・第六回、菅浩二「昭和十一年宣教師報告書に見る「神社問題」」、平成二十二年十月十三日(水) 十九時三十分～二十一時、AMC棟五階プロジェクトルーム二

▽国際学術交流事業

- △アメリカ合衆国・ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員派遣
- ・西高辻信宏(共同研究員、平成二十二年九月迄)

〈出張〉

- ・中野裕三「ドイツ・マールブルグ大学宗教資料館・同図書館での資料調査、研究発表(「荒魂信仰について―神道の神観念―)」に基づく現地研究者との学術交流」、平成二十二年七月二十日(火)～八月八日(日)

- ・菅浩二「アメリカ合衆国・全米宗教学会(AAR)での発表、研究者との交流(アトランタ市)、長老派歴史資料館での資料調査(フィラデルフィア市)」、平成二十二年十月二十九日(金)～十一月四日(木)

- ・千々和到(文学部教授)・菅浩二「英国・オクスフォード大学ピットリバス博物館でのB・H・チェンバレンコレクション調査(オクスフォード市)」、平成二十二年十二月五日(日)～十二日(日)

▽外部研究機関との共催研究事業

- ・第十八回日本近代仏教史研究会研究大会、主催Ⅱ日本近代仏教史研究会、共催Ⅱ研究開発推進センター、シンポジウム「問い直される近代仏教」、発題者Ⅱ大谷栄一(佛教学准教授)「近代仏教史研究の現状とその課題」、藤田大誠(人間開発学部准教授)「神道史から見た近代仏教」、菊地暁(京都大学人文科学研究所助教)「人類学史(研究)から見た近代仏教(研究)」、司会・コメンテーターⅡ林淳(愛知学院大学教授)、平成二十二年五月二十二日(土) 十時～十七時十五分、AMC棟一階常磐松ホール

- ・公開シンポジウム「近代日本の教育と伝統文化」、主催Ⅱ明治聖徳記念学会、共催Ⅱ研究開発推進センター、天野郁夫(東京大学名誉教授)「伝統と近代―明治期日本の高等教育―」、パネリストⅡ齊藤智朗(研究開発推進機構准教授)、藤田大誠、コメンテーターⅡ高橋陽一(武蔵野美術大学教授)、司会Ⅱ三宅守常(日本大学准教授)、平成二十二年六月二十二日(土) 十三時三十分～十七時、明治神宮参集殿

- ・公開講演会「雅楽と神道文化」、主催Ⅱ財団法人神道文化会、共催Ⅱ研究開発推進センター、講演者Ⅱ塚原康子(東京藝術大学教授)、ヘルマンⅡゴチエフスキ(東京大学大学院准教授)、阪本是丸、平成二十二年六月二十六日(土) 十三時～十七時、百二十周年記念二号館一階二一〇一教室

・明治神宮鎮座九十年記念 公開学術シンポジウム「明治神宮造営をめぐる人々―近代神社における環境形成の転換点―」、主催Ⅱ明治神宮国際神道文化研究所、共催Ⅱ研究開発推進センター・明治神宮史研究会・科学研究費補助金基盤研究(C)「帝都東京における神社境内と「公共空間」に関する基礎的研究」、発題者Ⅱ青井哲人(明治大学准教授)、畔上直樹(上越教育大学大学院准教授)、藤田大誠、コメンテーターⅡ山口輝臣(九州大学大学院准教授)、司会Ⅱ今泉宜子(明治神宮国際神道文化研究所主任研究員)、平成二十二年十月二十三日(土) 十三時三十分～十六時三十分、明治神宮社務所講堂

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会

・宮本誉士「御歌所と国学者」、平成二十二年十月四日(月)、若木タワー地下一階会議室〇二

▽國學院大學院友神職会からの寄付によるCOEプログラム後継事業研究者育成奨学資金

・平成二十二年採用者
山田岳晴(伝統文化リサーチセンターポスドク研究員)

▽日本発 共存社会モデル構築による世界貢献(共存学)プロジェクト

〈平成二十二年「共存学」公開研究会〉

・第一回、平野真(高知工科大学教授)「地域おこし(振興)と農業ビジネス」、平成二十二年六月四日(金) 十六時～十八時、AMC棟五階会議室〇六

・第二回、濱田陽(帝京大学准教授)「共存の哲学における複数宗教経験(inter-religious experience)―人間間、人間と自然、未知との共存をめぐる―」、平成二十二年十月一日(金) 十七時三十分～十九時三十分、AMC棟五階会議室〇六

・第三回、野中規正(共同研究員、国土交通省国土技術政策総合研究所交流研究員)「水環境問題―水ビジネスへの提言―」、平成二十二年十二月十七日(金) 十四時三十分～十六時、AMC棟五階会議室〇六

〈「共存学」フォーラム二〇二一―関連〉

・映像の夕べ「生命(いのち)と文化の多様性―里・山の祭と芸能―」上映会、主催Ⅱ國學院大學環境教育研究プロジェクト、(財)ポラ伝統文化振興財団、共催Ⅱ研究開発推進センター「共存学」プロジェクト、社叢学会、講演Ⅱ中村茂子(民俗芸能学会理事)「花祭の世界」、上映Ⅰ「月と大綱引き」、上映Ⅱ「舞うがごとく翔ぶがごとく―奥三河の花祭」、解説Ⅱ茂木栄(神道文化学部教授、「環境教育研究」プロジェクト)、「共存学」プロ

ジェクト)、上映三「おんだ祭の諸相と世界観」、上映四「森の祭り」、平成二十三年一月二十一日(金) 十六時三十分～十九時四十五分、渋谷キャンパス百二十周年記念二号館一階二一〇四教室

・共存学フォーラム二〇一一「生命(いのち)と文化の多様性―森・里・海の絆を結ぶ―」、主催Ⅱ研究開発推進センター「共存学」プロジェクト、共催Ⅱ(財)ポララ伝統文化振興財団、CBD市民ネット開発部会、社叢学会、開会挨拶Ⅱ阪本是丸、第一部「生物多様性条約会議(COP10)をふり返る」、全体報告Ⅱ高山進(CBD市民ネット・共同代表、三重大学教授)「COP10と市民社会の取り組み」、各作業部会関係者報告Ⅱ森良(エス・コミュニケーションセンター代表、「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議理事)「開発・地域・貧困」、上村英明(市民外交センター代表、恵泉女学園大学人間社会学部教授)「世界と日本の先住民族から」、呉地正行(ラムサールネットワーク日本 共同代表、日本雁を保護する会 会長)「世界に発せられた水田決議」、浜口真理子(CSOピースシード主催者、コンセプト開発デザイナー)「人々と種(タネ)の未来」、川廷昌弘(博報堂DYメディアパートナーズ、国際生物多様性年国内委員会地球生きもの委員会委員)「国連生物多様性10年への教育・普及啓発」、全体討論「COP10と将来への課題」(司会Ⅱ古沢広祐経済学部教授、「共存学」プロジェクト代表)。第二部

「文化多様性が紡ぎだす世界」、基調講演Ⅱ畠山重篤(NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授)「森、里、海の絆を結ぶ」、司会Ⅱ茂木栄(神道文化学部教授)、個別報告Ⅱ茂木栄「山・社(もり)・里・稲―我々は自然を如何に意味づけてきたか―」、渋沢寿一(樹木・環境ネットワーク協会理事長)「森・川・海の聞き書き甲子園(伝統的生活を送ってきた先人たちへの高校生の聞き書き)」、李春子(科学研究費補助金「東アジアの「鎮守の杜」をめぐる「知」と「学」の編成」代表)「東アジアにおける鎮守の杜文化―日本・韓国・台湾の杜の持続保全―」、ヘイヴンズ・ノルマン(神道文化学部准教授)「多様性の価値をグローバルで考える」、総合シンポジウム(司会Ⅱ古沢広祐)、開会挨拶Ⅱ古沢広祐、平成二十三年一月二十二日(土) 十時～十八時三十分、AMC棟一階常磐松ホール

〈出張〉

・高橋克秀(経済学部教授)・河原亘(研究補助員)・冬月律(研究補助員)「第七回日韓次世代フォーラム(これまでの一〇〇年、これからの一〇〇年)参加」、平成二十二年六月二十五日(金)～三十日(水)、韓国・全南大学校他

・古沢広祐「国際社会学会・第十七回世界大会参加」、企画セッション「気候変動政策に関する国際比較共同研究」発表、平成二十二年七月九日(金)～十九日(月)、スウェーデン イェーテボリ

・康成文・冬月律「中国東北地区における調査研究（経済格差・少数民族問題、宗教施設の復建状況などの調査）」、平成二十二年九月十二日（日）～二十六日（日）、中国長白山・ハルビン・長春他、※大学院特定課題研究「中国における社会経済の変動と伝統的価値観の復権に関する学際的研究」（代表者高橋克秀）と連携、共同調査

・古沢広祐・高橋克秀「へ生物多様性条約名古屋会議」COP10参加」、平成二十二年十月二十五日（月）～二十九日（金）、名古屋、※古沢（二十五～二十六日・二十八～二十九日）、高橋（二十七～二十八日）

▽「渋谷学」プロジェクト

〈平成二十二年度渋谷学研究会〉

・第一回、平野明夫（文学部兼任講師）「中世渋谷の領主」、吉岡孝（文学部准教授）「江戸時代渋谷における藩邸とその周辺」、平成二十二年六月十九日（土）十四時～十七時、AMC棟五階会議室〇六

・第二回、「渋谷の花街を歩く」、平成二十二年七月十七日（土）十三時～十五時、案内人||林和生（文学部教授）、佐藤豊（渋谷在住カメラマン）、渋谷ハチ公銅像前集合、道玄坂（百軒店）・円山町・神泉町方面を探訪

・第三回、内山京子（大学院博士課程後期）「武家地の転用と渋谷」、

手塚雄太（研究補助員）「『渋谷区』の誕生」、平成二十二年八月二十七日（金）十四時～十七時三十分、AMC棟五階会議室〇六

・第四回、伊藤暢直（豊島区教育委員会学芸員）「池袋と池袋駅」、黒崎浩行（神道文化学部准教授）「渋谷のコミュニティと神社祭礼」、平成二十二年二月五日（土）十四時～十七時三十分、AMC棟五階会議室〇六

〈総合講座「渋谷学」〉各回、十時三十分～十二時、二二〇三教室

・第一回、林和生（文学部教授）「川が造った魅力あふれる街||渋谷」、平成二十二年九月二十二日（水）

・第二回、粕谷崇（白根記念渋谷区郷土博物館学芸員）「渋谷を掘る―原始古代の渋谷―」、平成二十二年九月二十九日（水）

・第三回、平野明夫（文学部兼任講師）「中世の渋谷と渋谷氏」、平成二十二年十月六日（水）

・第四回、吉岡孝（文学部准教授）「江戸時代の渋谷―羽沢山房をめぐる空間と周辺の名所」、平成二十二年十月十二日（水）

・第五回、上山和雄（文学部教授）「渋谷と首都圏の形成」、平成二十二年十月二十日（水）

・第六回、藤田大誠（人間開発学部准教授）「へ表参道」の誕生―明治神宮創建の歴史をひもとく―」、平成二十二年十月二十七日（水）

・第七回、倉石忠彦（文学部名誉教授）「渋谷の人びと」、平成二十二年十一月十日（水）

・第八回、長野隆之（文学部准教授）「渋谷世相史」、平成二十二年十一月十七日（水）

・第九回、石井研士（神道文化化学部教授）「渋谷の神々」、平成二十二年十一月二十四日（水）

・第十回、黒崎浩行（神道文化化学部准教授）「渋谷のコミュニティと神社祭礼」、平成二十二年十二月一日（水）

・第十一回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー―統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題―」、平成二十二年十二月八日（水）

・第十二回、田原裕子（経済学部教授）「代官山らしさの形成と最近のまちづくり」、平成二十二年十二月十五日（水）

報 兼
・第十三回、依田育也（東京急行電鉄）「ターミナル渋谷の歴史と形成」、平成二十三年一月十二日（水）

・第十四回、佐藤豊（グラフィックデザイナー）「渋谷の記憶」、平成二十三年一月十九日（水）

〈シンポジウム〉

・第二回渋谷学シンポジウム「渋谷を描く」、長野隆之（文学部准教授）「民俗から描く」、服部比呂美（渋谷区郷土博物館・文学館学芸員）「文学から描く」、福谷修（映画「渋谷怪談」監督）「映画から描く」、佐藤豊（渋谷区在住カメラマン）「写真から描く」、コメンテーター||倉石忠彦（文学部名誉教授）、田原裕子（経済学部教授）、司会||遠藤潤、平成二十三年二月十九日（土）

十三時三十分〜十七時、A M C棟一階常磐松ホール

▽文部科学省大学院教育改革推進プログラム「高度博物館学教育プログラム」（博物館学教育研究情報センター）

◇プログラム実施など◇

・プログラム対象学生入学（前期課程十二名、後期課程四名）、平成二十二年四月一日（木）

・高度博物館学教育プログラムの全講義開講、平成二十二年四月八日（木）

・本学学術資料館において、学内インターンシップ開始、平成二十二年六月八日（火）

〈特別講義など〉

・平成二十二年度第一回特別講義 李永植（大韓民国仁済大学校博物館長・仁済大学校歴史考古学科教授）「韓国仁済大学校博物館の運営と社会教育プログラム」、平成二十二年五月二十日（木）十七時五十分〜十九時、A M C棟一階博物館学実習室

・大学院生海外博物館インターンシップ報告会、平成二十二年九月二十九日（水）

・國學院大學大学院主催「高度博物館学講演会」、講師||青木豊（文学部教授）「高度博物館学教育の必要性」、ティモシー||クラーク（大英博物館日本美術担当長）「ひらかれた大英博物館」、高橋雄造（電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

の追加アップロード作業完了、平成二十二年八月

学術調査員)「博物館の歴史」、味酒安則(太宰府天満宮禰宜)
「近未来の神社博物館」、平成二十二年十月九日(金) 十三時〜十
六時十分、百二十周年記念一号館一〇五教室

〈出張〉

- ・長野県下高井郡木島平村における学外実習事前協議及び調査(第
二回目)、平成二十二年六月九日(水)〜十日(木)
- ・釜山広域市立博物館海外インターンシップ実施に向けた事前協
議調査(第二回)、平成二十二年六月二十二日(火)〜二十五日
(金)

報

彙

- ・学外実習①長野県下高井郡木島平村(学校博物館設立をイメー
ジした調査実習) 平成二十二年七月十九日(月)
- ・学外実習②熊本県球磨郡水上村(神社資料の調査・整理を目的
とした調査実習) 平成二十二年九月一日(水)〜七日(火)

▽成果公開

〈刊行物〉

- ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第五号、平成二十
三年三月
- ・『渋谷学叢書』二、平成二十三年二月
- ・『渋谷学ブックレット』二、平成二十三年二月
- 〈ホームページ〉
- ・ホームページ「慰霊と追悼」保守管理・更新、収集画像データ